

宮城県復興まちづくり通信

Vol.31

平成29年10月発行

平成29年6月に工事着手した閉上東地区と区画整理が進む閉上地区（名取市）

トピック

防災集団移転促進事業の移転元地利活用状況について（平成29年3月末）

■ 調査概要

県では防災集団移転元地の利活用状況について、平成26年3月から平成27年3月にかけて沿岸市町の協力を得ながら、調査を実施し、その結果を本通信（Vol.16 平成26年9月発行）およびHP（平成27年4月）にて公表しています。

今回、その後の事業進捗を踏まえ、改めて利活用状況を調査したものです。

■ 利活用状況の推移

事業着手済み箇所については、ほ場整備の着手による非農用地の整備や、復興祈念公園の事業着手に伴い、平成27年3月と比較し、487haから708haに増加しています。

計画検討中箇所については、現状維持としていた箇所の利活用計画の検討が進んだことにより増加したものです。

現状維持箇所については、利活用計画の検討や事業着手が進んだことにより、493haから244haに減少しています。

■ 土地利用別内訳

事業着手済み箇所および計画検討中の箇所を合計した土地利用別内訳については、産業での活用が半数を占めており、ほか3割程度は公園緑地・公共施設等の公益的利用となっています。

■ 現状維持の理由

現状維持となる理由については、「元地の点在」が70%と大部分を占めており、ほか「土地利用のニーズ無し」が28%となっています。

■ 今後の課題

移転元地については、一定の利活用が見込まれる一方、元地の点在や土地利用ニーズが無い等の理由により、利活用が望めず現状維持となる箇所も発生しています。

今後、現状維持となった土地については、未利用のまま多額の維持管理費用を要することなど、大きな課題となっています。

各市町では維持管理費用の縮減や利活用に向け、コミュニティ広場や市民農園への活用等、更なる検討を進めており、当室でも引き続き支援に取り組んでまいります。

防災集団移転元地とは・・・？

県内沿岸12市町が内陸や高台への居住地移転を進めている防災集団移転促進事業において、市町が買い取りを行い公有地となった土地です。

移転元地の買い取りは、通常の公共事業のように道路や公園等を整備するためではなく、被災者から土地を「買い取る」こと自体が目的であり、買い取り対象面積は全県で約1,244haとなっています。

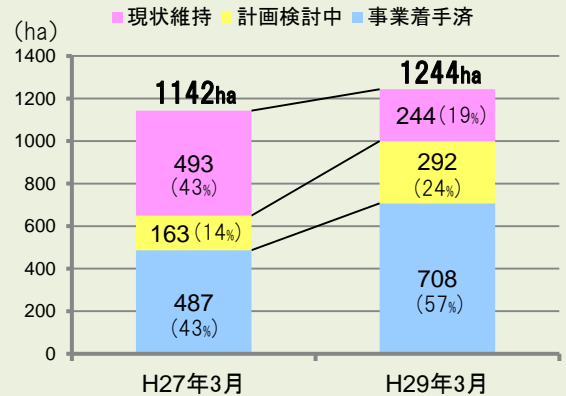


図1：移転元地の利活用状況の推移

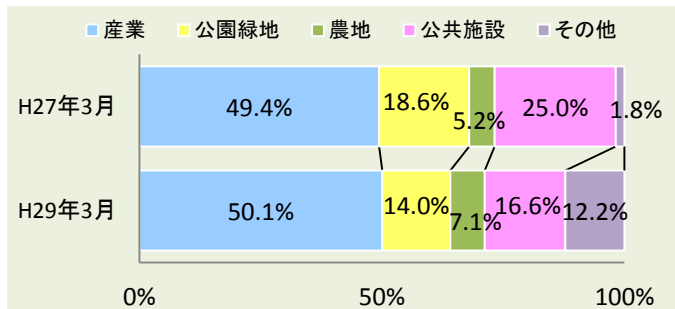


図2：土地利用別内訳

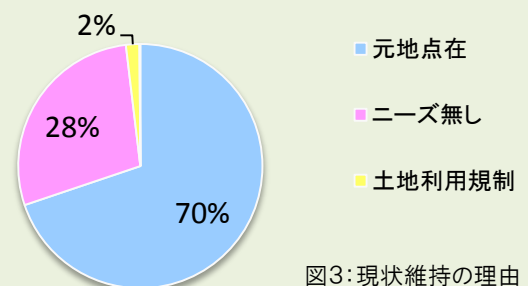


図3：現状維持の理由

復興まちづくり推進室の取り組み

持続可能なまちづくりへ向けて 復興まちづくり勉強会(特別編)を開催しました



勉強会の様子



意見交換の部における質疑

当室では、復興まちづくりの現状と課題を市町の皆様と共有しながらその解決に資することを目的に、「復興まちづくり勉強会」を毎年定期的に開催しております。

今年度は、平成29年4月28日の第一回勉強会に続き、8月24日(木)に独立行政法人都市再生機構の御協力をいただき、「課題から仕事を作る。10年後を見据えた持続可能なまちづくり」をテーマに、「復興まちづくり勉強会 特別編」を開催いたしました。

当日の第一部では、講師として(株)仙台秋保醸造所の毛利親房氏より「食材王国宮城ならではのツーリズムと国内外への情報発信によるブランディングと交流人口拡大の提案」と題し、外国人観光客誘致の観点から、地域の強みを活かした事業者連携の取り組みについて御講演をいただきました。

第二部では、東松島市復興都市計画課の森祐樹氏より「創造的復興における風土・Food・Who do?」と題し、移転元地利活用の観点から、全国の先進的まちづくり事例の紹介や、東松島市での取り組み事例について御講演をいただきました。

本勉強会には、沿岸市町等から約60名の方々に御参加いただき、企業の地域連携に対する考え方や自治体と企業の連携事例等、貴重な講演に熱心に耳を傾けておられました。

当室では、今後とも市町の復興の一助となるよう充実した勉強会を開催してまいります。



- 第一部
「食材王国宮城ならではのツーリズムと国内外への情報発信によるブランディングと交流人口拡大の提案」
- 講師
株式会社仙台秋保醸造所
代表取締役 毛利 親房(もうり ちかふさ)氏
- 特技
企画・提案, 英会話
- 座右の銘または好きな言葉
為せば成る為さねば成らぬなにごと
成らぬは人の為さぬなりけり(自戒の念を込めて)
- 市町の皆様にアピールしたいこと
東北を訪れる外国人観光客は少ないものの満足度は高い。その大きな理由は「食べ物美味しい」「人がいい」。広域な連携を通じて、食材王国宮城ならではの酒と食のツーリズムを創って行きましょう。



- 第二部
「創造的復興における風土・Food・Who do?」
- 講師
東松島市復興政策部復興都市計画課
技術監 森 祐樹(もり ひろき)氏
- 特技
創造的妄想・計画的空想・現実的問答
- 座右の銘または好きな言葉
夢なき者に理想なし、
理想なき者に計画なし、
計画なき者に実行なし、
実行なき者に成功なし。
故に、夢なき者に成功なし。
- 市町の皆様にアピールしたいこと
ワクワクするような情報ください。

編集・発行

宮城県土木部復興まちづくり推進室

〒980-8570

宮城県仙台市青葉区本町3丁目8番1号

TEL 022-211-3207

FAX 022-211-3295

fukumachi@pref.miyagi.lg.jp

